

2024年1月5日

報道関係各位

2024年 年頭社長挨拶(要約)

株式会社ツムラ

株式会社ツムラ

コーポレート・コミュニケーション室

広報グループ 担当：瀬戸 純

e-mail shuzai@mail.tsumura.co.jp

衆知を集め、変化の激しい時代に挑む

2024 年の干支は^{きのえ}甲辰^{きのえ}です。甲は、旧体制が破れて革新の動きが始まるという意味を持ちます。辰は、理想に向かって辛抱強く、かつ慎重に、さまざまな抵抗や妨害と闘いながら歩を進めていくという意味があります。転じて、^{きのえ}甲辰は、旧体制の殻を破り、革新の歩を進めなければいけないが、そこにはさまざまな抵抗や妨害があるために、その困難と闘う努力をしながら、慎重に伸びていかなければならない年といえます。

当社には、患者様からお礼のメールやお手紙、お電話が多数寄せられます。患者様のなかには、「さまざまな治療を試みたものの、疾患・症状に長年苦しみ続け、命を絶つことまで考えた挙句に、漢方薬を処方する医師に出会い、特定の漢方薬処方^きで元気になった」といった内容もあります。患者様のお気持ちや想いを励みにしながら、私たちの使命を果たしていきましょう。そして、誰一人取り残されることなく、病気で苦しんでいる患者様に、その方に合った漢方薬などをお届けし、「一人ひとりに合ったエビデンスベースのヘルスケアサービスが提供される社会」の実現に貢献していきます。

当社グループの価値創造サイクルには当社グループ独自の組織資本を加えた 7 つの資本があり、組織資本の強みは漢方薬的組織です。一人ひとりの能力が高く、各人が各組織での役割を担う時に、お互いの作用を打ち消し合うのではなく、協調・協業を図りベクトルを合わせ大きな成果を生み出します。目的・価値を求心力とした“対話”によるコーチング・チームビルディングを実践し、関係性の質・思考の質・行動の質・結果の質を生み出す循環モデルを構築していきます。

VUCA の時代、目まぐるしく変化する事業環境に適応するためには、現場に最も近い人が適切に判断することが重要です。一人ひとりが現場の状況を正しく把握した上で、先見性を持って変化を分析・判断し、自主・自律的に周囲を巻き込んで迅速に行動できる体制、スピード感と先見性のある体制を早期に目指します。新たに何か始めることは、少なからずリスクがあるものです。リスクのあることに、人を巻き込んでいくにはエネルギーが必要です。新たに始めることが「利己」ではなく、「利他」であること、志・思いを情熱・パッションで、自分がやらなくて誰がやるのかという使命感で伝えていくことが、人を巻き込んでいくために最も重要なことです。当社の創業者初代・津村重舎も「^{おのおの}各其の営業の方針に至る迄、意見交換をなし、相助け、相補ひ、非を捨て是を採り、^{ひたすら}只管、精神的に親睦益々深厚なり」と、「衆知を集める」ことの重要性を言葉に遺しています。

今年は、長期経営ビジョン「TSUMURA VISION “Cho-WA” 2031」実現に向けた第 1 期中期経営計画の最終年度という重要な年です。厳しい外部環境が続いていますが、当社グループの理念体系である「TSUMURA Group DNA Pyramid」を拠り所に、私たちの行動、考え方が正しいかどうかを常に確認しながら「衆知を集め」、新たな次元へ挑戦していく決意を胸に前進していきましょう。

以上